

平成 23 年度大阪府学力・学習状況調査結果の公表にあたって

保護者・地域の皆様へ

河内長野市教育委員会
教育長 和田 栄

皆様方には、平素から学校教育をはじめ、本市教育委員会事業に多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ご存知のとおり、平成 19 年度からスタートした全国学力・学習状況調査につきましては、昨年度から抽出調査となり市町村別の学力把握ができなくなりました。そこで、本市の児童・生徒の学力及び学習状況を継続的に把握するために、今年度大阪府の独自の学力・学習状況調査を実施することになりました。

本年度も教育委員会議を開催し審議の結果、公表することとなり、学校教育課ホームページに掲載したところです。内容的には小中学校別で各教科（国語・算数・数学）及び生活習慣や学習環境等に関する調査結果について分析し、課題を明らかにした上、改善に向けての方策についてもお示しさせていただきました。

今後、教育委員会といたしましては、新学習指導要領等を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、学習意欲を喚起し、学習習慣を確立するような教育を推進してまいります。

特に、昨年度から各学校に整備しました I C T 機器を活用したデジタル教材による授業づくりや小・中学校の“つながり”、地域との“つながり”をさらに深めていく取組みを進めることで、一人ひとりの子どもがめあてをつかみ、その持てる力を十分に発揮し、キラリと光る個性・能力の伸長に結び付けられるような施策を展開しているところです。

今回、掲載しました調査結果についても、これまでもお願いしてきましたが、数値のみに注目するのではなく、子どもたちが学んだことを「生きる力」として身に付けるために、学校はもとより、教育委員会や地域、保護者などが一体となった取組の推進に資するものであることをご理解いただきまして、今後もなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成 23 年 10 月

[結果のページへ](#)